

## ＜三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録＞

開催日：2022 年 11 月 8 日 18:35~19:35

場所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 605 号ダ・ヴィンチ大会議室+Zoom ミーティング

出席者：理事：飯島、庄野、荒嶋、安藤、五十嵐、加藤、吉田、坂口、鈴木、高木

Zoom 出席者：尾山、黒岩、三輪、石原、小坂橋

監事：小川 (Zoom)、最川 (Zoom)

顧問：児玉 (Zoom)、平松 (Zoom)

(敬

称略)

庄野理事の進行により新橋の会議場と Zoom ミーティングの併用によるハイブリッド会議を実施、参加人数が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長から小網代カップ関係者への慰労の言葉と報告があり、議事録作成に加藤理事、議事録署名人に吉田理事を指名し会議を開催。下記議案等を審議報告した。

### ＜審議事項＞

#### 1. JSAF 加盟団体規定案 進捗について

飯島会長より 9 月に当クラブからの意見書提出済み进行を報告。その後外洋団体長会議でもこの件について議題になった。JSAF の理事の方からは、外洋系団体からの意見について理解を得られ、12 月実施予定の JSAF 理事会までに追加でさらに意見を出して欲しいとの要望があった。12 月の理事会ではさらに規定案を揉んでいく方向であることが報告され、継続審議していくことを確認した。

#### 2. 2023 年理事会の日程

飯島会長の進行により 2023 年度の理事会は、1 月 18 日 (水)、2 月 15 日 (水)、3 月 15 日 (水)、5 月 16 日 (火)、9 月 5 日 (火)、11 月 7 日 (火) の日程で開催することが決定した。

#### 3. 全国外洋合同委員会 出席者について

坂口事務局長より 2023 年 2 月 4 日午後、夢の島マリーナで Zoom とのハイブリットによる全国外洋合同委員会会議が開催される予定が報告され、MOSC からはレース委員会・荒嶋理事、計測委員会・鈴木理事、安全委員会・高木理事、ルール委員会・五十嵐理事が出席することを確認した。

#### 4. 2023 年レース予定について

荒嶋レース委員長よりまずは 2022 年直近のレース報告と 2022 年残りのレースについての報告があった。10 月 9 日若大将カップ・外洋湘南と共催、10 月 23 日湘南レース、10 月 30 日ショートハンドチャレンジ 123・外洋三崎と共催、11 月 5 日小網代カップ。4 レース全てが無事に開催されたことと、本年度の残りレースは、11 月 13 日湘南レース、11 月 20 日小網代フリートレース、12 月 11 日湘南レース、12 月 18 日小網代フリートレースを予定していることが報告された。

#### 5. 2023 年度のレース予定・新春親善レースについて

荒嶋レース委員長より、新春親善レースの日程はまだリビエラと確定はしていないが例年通りだと 1 月 8 日 (日) 開催のイメージで予定していると報告があり、窓口は才藤理事が担当することを確認した。その他、来年のレースは例年通りのレースに加えショートハ

ンドチャレンジ１２３が初島ダブルハンドレースの前に共同開催される予定で進めることを確認。全てのレース日程が調整でき次第発表することを確認した。初島ムーンライトレースの実施については、レース委員会と三崎・三浦の会長同士で話し合い決めることを確認した。（※議事録準備時点で、外洋三崎の常任委員会で初島ムーンライトレースは来年度は開催しないことが報告された）

平松顧問より、JSAF からジャパンカップを来年シーボニアで開催する打診があったことが報告された。

#### 6. 小笠原レースについて

飯島会長より JSAF からの現状、日程は 2023 年 4 月 23 日、コースは三崎沖スタート～小笠原フィニッシュを予定しており、各外洋団体に共同主催と運営人員の要請が来ていること、運営に関する第 1 回の会議を 11 月 17 日に予定されていることが報告された。児玉顧問より、今回は安全面を重視しカテゴリー 2 での開催を予定しており、これによりサバイバルトレーニングの受講要件が発生するため、日本オーシャンセーラーズ協会で 11 月と 2 月～3 月頃にカテゴリー 2 に必要なトレーニングスクールを開催することと、運営側ではワッチ体制、定時連絡、危機管理など、不測の事態が発生した際に対応できる体態勢の構築が必要との指摘があった。11 月 17 日の会議には、MOSC は協力をするスタンスで会議に臨み、荒嶋レース委員長が出席することが確認された。会議の情報を受けて、本件は、継続審議することを確認した。

#### 7. 来年度の会員向け郵便物（会員証など）の際にクラブの案内を同封する件

坂口事務局長より同封して配布する物があれば検討対応すると報告があった。

#### 8. 基金口座への基金相当の預け替えについて

坂口事務局長よりクラブ人数×1,000 円を基金口座に預け替えるため、メールでのご案内を行うとの報告があった。

#### 9. その他

##### ・会員向けライフラフト・貸出サービスの継続について

4 年前から始まったライフラフトの貸し出し事業だが、コロナの影響もあり 1 回の利用もされなかったことが報告された。また、ライフラフトの期限が切れたことに伴い、20 万強必要な整備を行うかどうかの動議が出された。予算については今年度計上しないことと、ライフラフトの貸出業者が存在するので、レンタル費用を確認したうえで、レンタル費用の補助を行うプログラムを立ち上げるか、整備を行うかを継続審議していくことを確認した。

##### ・JSAF 河野名誉会長の供花について

坂口事務局長より、偲ぶ会など開かれたときに MOSC から 1 万円くらいの供花を出すことを承認した。

#### <報告事項>

##### 1. 10 月外洋加盟団体長・事務局長会議報告

飯島会長より 10 月 1 日に坂口事務局長とともに出席してきたことを報告。新規会長、事務局長に就任した方の紹介。JSAF 加盟団体規定案についての議論。セール番号を今年から JSAF 加盟以外のヨットにも配布したことなどを報告。その中で BAN に加入しているのはモーターボートの方が多いが、救助の要請はヨットの方が多いなど注目

すべきデータもあったと報告された。議事録について必要な方はメールで送付すると報告があった。

2. JSAF 定期表彰について

坂口事務局長より前回の理事会で承認された横山一郎氏の功績賞推薦について、JSAF に書類を提出受理されたことが報告された。

3. 関東外洋 4 団体忘年会の進捗について

坂口事務局長より関東外洋 4 団体忘年会は 12 月 7 日（水）横浜のモアーズのレストランで開催を予定していることが報告された。

4. JSAF ネットショップのボランティア募集について

平松顧問より、JSAF のネットショップでお手伝いしてくださるボランティア、特に女性を募集していることと、10 月に新発売した公式クラブタイと、11 月中旬に発売予定の 2023JSAF セーリングカレンダーの購入依頼があった。

5. みさきヨット局の再免許更新、免許人の住所変更について

石原通信委員長より、みさきヨット局 5 年ごとの定期検査、免許更新を行い、免許人の JSAF の住所が異なっていたので訂正したことが報告された。みさきヨット局の免許状・関係書類を小網代ヨットクラブ事務室で保管することが提案され、了承された。

6. 小網代カップ報告

飯島会長より第 60 回小網代カップは高速レースだったが、過去のコースレコードの記録がなく、今回記録を更新したかの確認ができず残念でしたと報告があった。

以上で本日の議事をすべて終了し、19 時 35 分に理事会を閉会した。

2022 年 月 日

議事録署名人